

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

事業所名 特定非営利活動法人ふらっと

アンケート開始日 令和5年2月15日 回答総数:18人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	職員の配置数は適切であるか	5	11	2	・マンツーマンの支援の必要な児童の多い日はスタッフが不足。子育て世代のスタッフが退勤後など時間帯により。 ・利用者が多い土・日・祝日に十分なスタッフを配置できるように、休日出勤手当などを設けて対応しているが未だ不十分である。
	2	事業所の設備等について、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	5	0	・事業所内は基本バリアフリー。階段の昇降や、車椅子で玄関を通る際は危険がないよう配慮が必要。
業務改善	3	業務改善のための目標設定や振り返りに、広く職員が参画しているか	10	8	0	・毎月1回スタッフ会議を開き業務の振り返り等を行っている。多くのスタッフが参加できるようにZOOMを利用したり工夫しながら行っている。 ・常勤スタッフが中心となり、毎朝打ち合わせを行っている。
	4	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	17	1	0	・必要な研修、自ら希望する研修等、できる限り参加している。
適切な支援の提供	5	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画書を作成しているか	12	5	1	・利用者(児)日々の過ごし方等の記録を取り必要な課題についてスタッフ間で共有するように努めている。支援のふりかえり、改善につなげていく。
	6	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	10	0	・朝の打ち合わせで課題の共有を行ない、打ち合わせに参加できない時は日誌や記録などを各自見て、できる限り情報の共有に努めている。
	7	定期的に、職員間で打ち合わせを行い、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	7	0	
	8	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	4	0	・1日の利用者各々の過ごし方の記録を生かしてスタッフ会議で個別の課題、ヒヤリハットなどについて検討している。今後一層内容を深めていきたい。
	9	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	7	1	
関係機関や保護者との連携	10	障害者相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	16	2	0	・相談支援専門員や児童発達支援管理責任者が出席している。
	11	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	15	3	0	・地域のサービスと利用者のマッチングがあっていない。総合支援協議会などに声を届けていく。 ・学校で新型コロナウイルスの感染者が出た場合は、メールなどで情報共有し、感染対策に努めている。
	12	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	13	5	0	・医療カンファレンスに参加して主治医の指示を直接うけている。看護師、スタッフへの周知に難しさを感じる時がある。(本児、家族のニーズとのミスマッチや疾病についての考え方の相違がある。)
	13	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	14	4	0	
	14	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	15	3	0	・相談支援専門員や児童発達支援管理責任者を通して必要な情報を得る体制ではあるが全体への周知が情報の選択等の問題で難しい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	15	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	6	1	・子育て支援事業を同一ハードで行っており健常児の来所が時々ある。
	16	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	6	0	・事業所での過ごし方や様子を簡単にではあるが利用伝票に記入し、帰宅時に渡している。
保護者への説明責任など	17	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	15	3	0	・契約時に丁寧に説明を行うよう心掛けている。
	18	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	16	2	0	・送迎時、保護者と何気ない会話をすることで気軽に話し合えるような関係が出来るように心掛けている。
	19	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	1	0	・電話での相談や苦情にも迅速に対応できるよう努めている。適宜電話や訪問など行っている。
	20	個人情報に十分注意しているか	17	1	0	・個人情報について今後所内研修を行っていきたい。
	21	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	16	2	0	
	22	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	18	0	0	・コロナ禍ということもあり、分散など感染対策を工夫し、地域の行事に参加したり、事業所の行事も地域の方々と共に行っている。 (スポラン・クリスマス会・ふらっと展)
非常時	23	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	17	1	0	・定期的に訓練を行っているが児童のいる時間帯での訓練の実施が難しい。今後児童がいる時間帯での訓練や児童がいる想定の下での訓練を行っていく。
	24	食物アレルギーのある子どもについて、適切に対応がされているか	18	0	0	・食事については利用開始時に聞き取りを行い、スタッフに周知を徹底し、個別に対応している。
	25	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	17	0	1	・ヒヤリハット事例はスタッフ会議等で検討している。外部機関や家族などにも共有できるようにしたい。